

発達障害のある子のキモチ～子どもに寄り添う大人のこころがまえ～

① 発達障害のキモチ

2024.07-09
木更津市健康こども部こども発達支援課
令和6年度
木更津市保育士・幼稚園教諭等研修会

発達研修ユニット みつばち
初川 久美子



ホームページ

本動画のメニュー



はじめに ～障害って何?～



発達障害のキモチ

障害とは何か



この子の「障害」は何でしょう？

*公益財団法人日本ケアフィット共育機構HPを参考に

障害とは何か



立って歩けないこと？

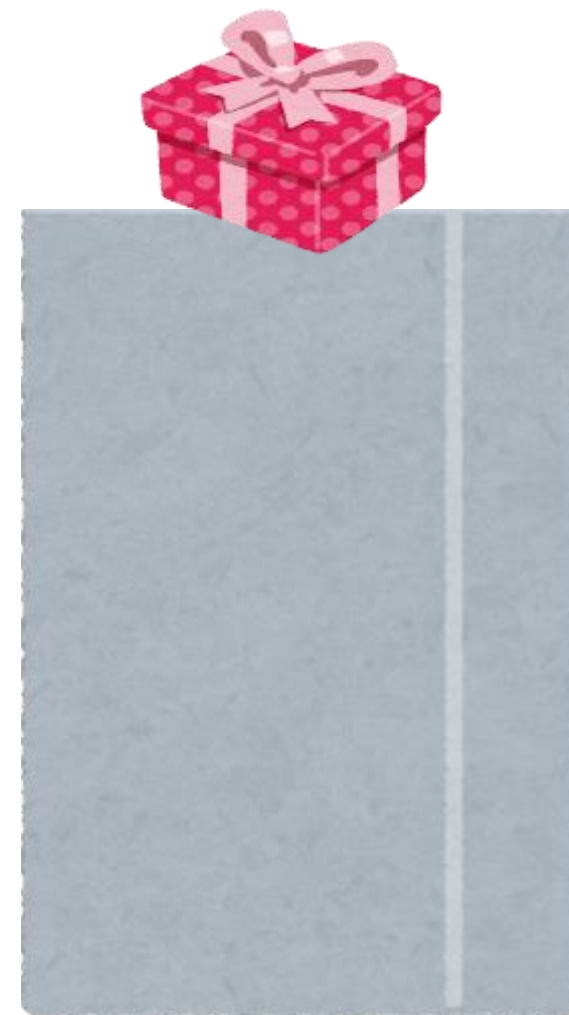
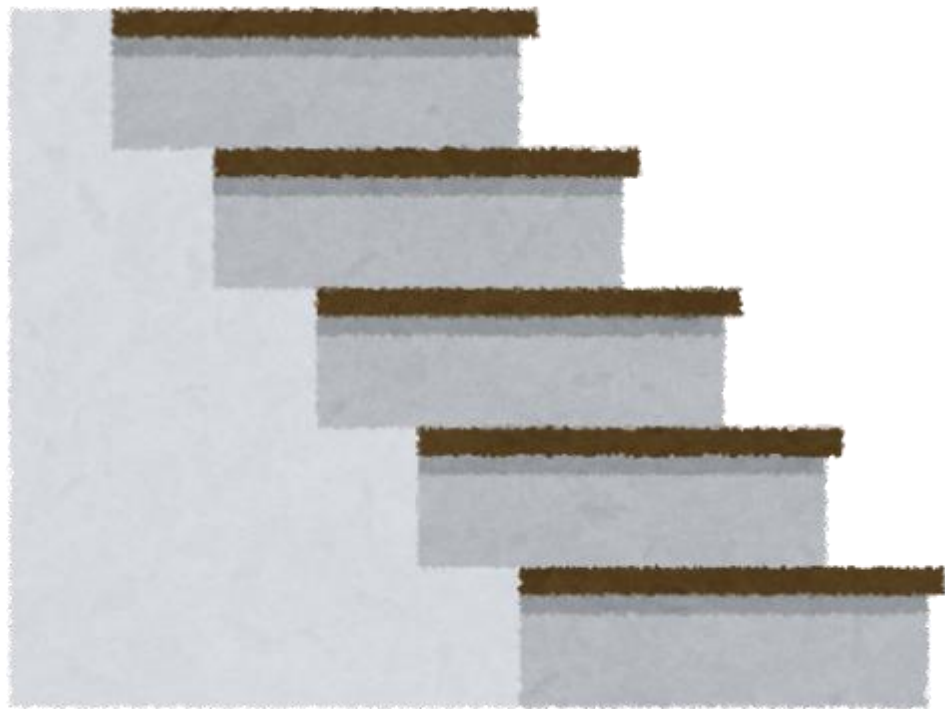
でも車いすを使えば、自由に動けます

高いところの物が取れないこと？

でも低いところにおいてあれば大丈夫

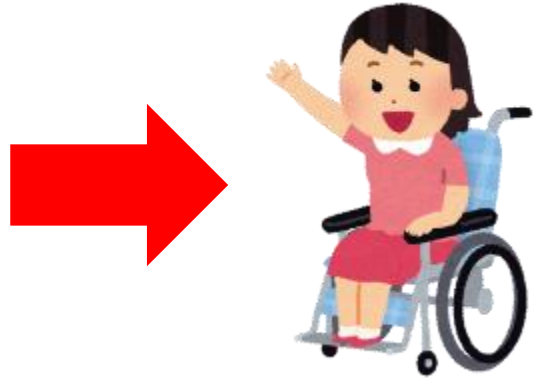
どんなときに「障害」になる？

障害とは何か



こんなときに「障害」になる

「障害」2つの捉え方 ～原因をめぐって

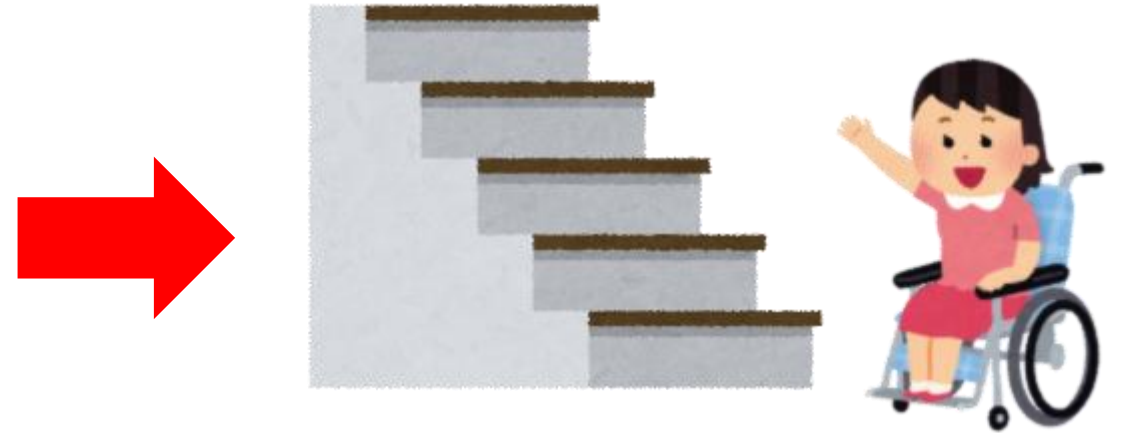


- 個人モデル（医学モデル）

個人の心身機能の問題



努力、訓練／医療・福祉の課題



- 社会モデル

障害のない人を前提に作られた
社会の作りや仕組み



社会の仕組みを改善しよう

車いすレストラン



© The Nippon Care-Fit Education Institute

では、発達障害はどうか

- 「発達障害」は、“どんな困難が表に現れているか”で診断
つまり、内側にある“不変の特性”の有無ではない
- ×「発達特性がある＝問題」
○「発達特性×環境⇒問題行動 となるときがある」
- 環境・対応の工夫によって、様子が変わる

大事なこと

- “発達障害のせい”にしたら、何も解決しない。
（「なんでその子がそんなことをしたのか考えよう」）
- ダメなところを指摘しても、その子は良くなるしない。
子どもの特性や個性を受け入れて育ったかどうかが大変。
（※受け入れて＝“理解→工夫”して・うまくいく仕組みを作って）

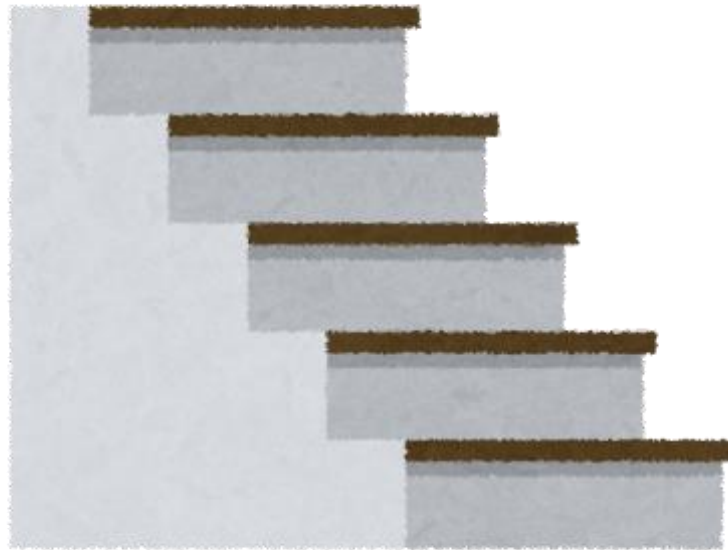
子どもの視点に立った《手立て》をするには

子どもの視点での“困り感”の把握

発達特性のある子の気持ち・世界の見え方（認知）を理解する

今日の問い①

発達障害にとっての「階段」は何か？



発達障害の子／発達特性を強めにもつ子の
「困難さ」はどこにあるのか？

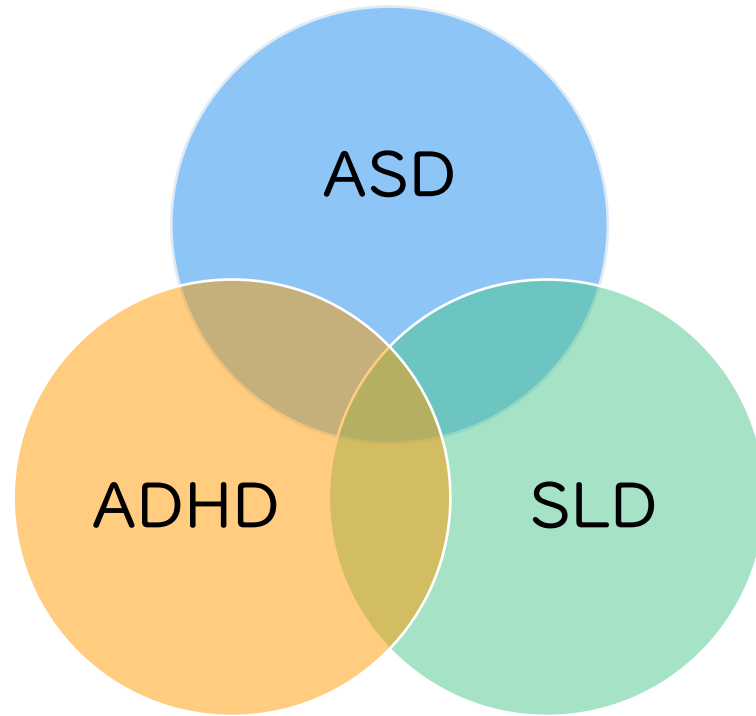
今日の問い② 目指すところはどこか？

- 「すべての階段をスロープに！」ではない
スロープもあったらいい
でも、すべてを変えることはなかなか大変

そもそも「階段」て何だっけ？



発達障害（神経発達症）



ASD

- ・ 自閉スペクトラム症
Autism spectrum disorder

ADHD

- ・ 注意欠如・多動症
attention deficit and
hyperactivity disorders

SLD

- ・ 限局性学習症
specific learning disability

ID

ID

- ・ 知的障害
Intellectual Disability

自閉スペクトラム症（ASD）診断の要点

A:社会性

- ・コミュニケーションの課題あり
- ・ いろいろな場面で、何度も

B:こだわり

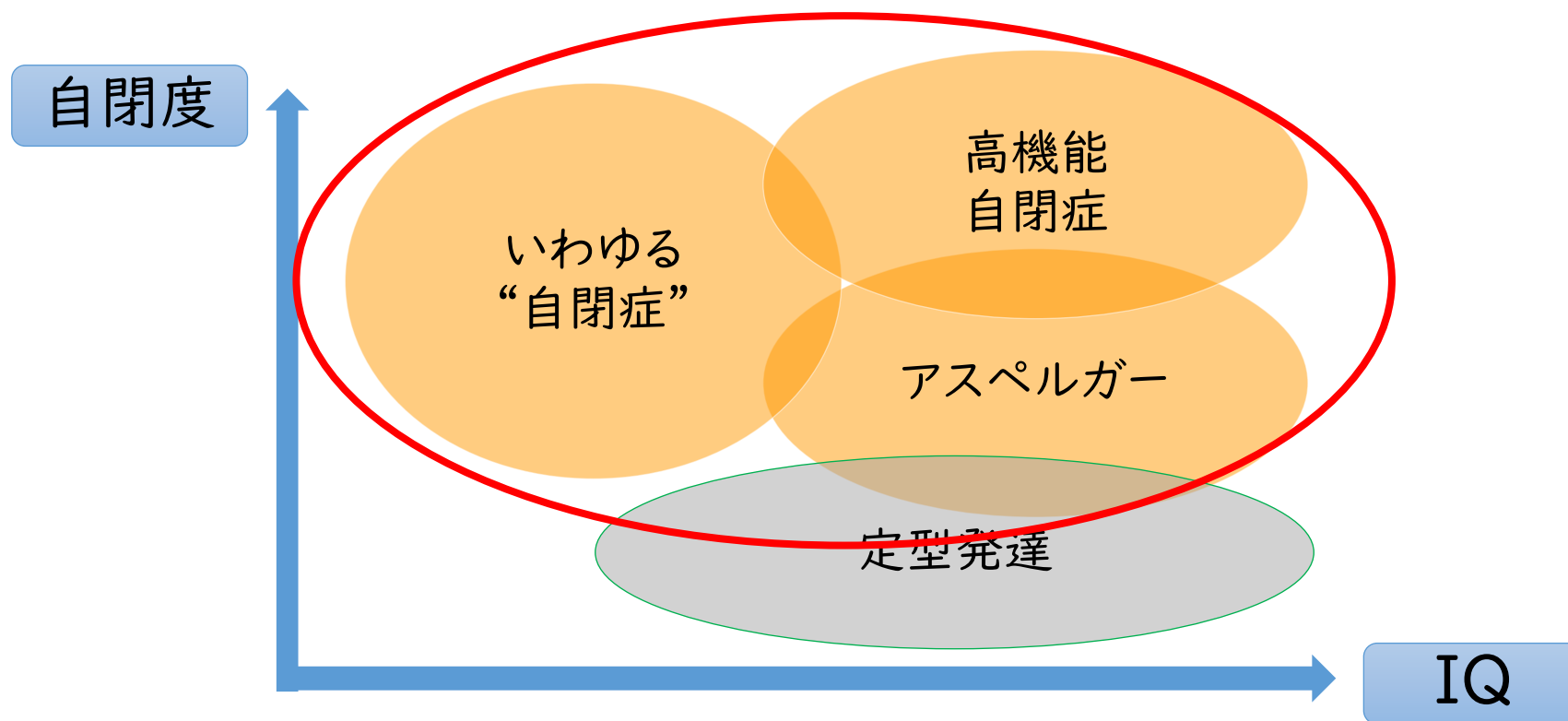
- ・ 行動パターン、興味、活動が限定的
- ・ 繰り返し行う

C:先天的要素

- ・ 症状は発達早期から

スペクトラム？

スペクトラム＝“連続体” “分布範囲”



どこからが富士山でしょうか問題



<葛飾北斎『富嶽三十六景』より『凱風快晴』>

ASDの特徴

こだわり

融通が
利かない

かんしゃく

シングル
タスク

論理的思考

想像力がない

空気が
読めない

文脈が
追えない

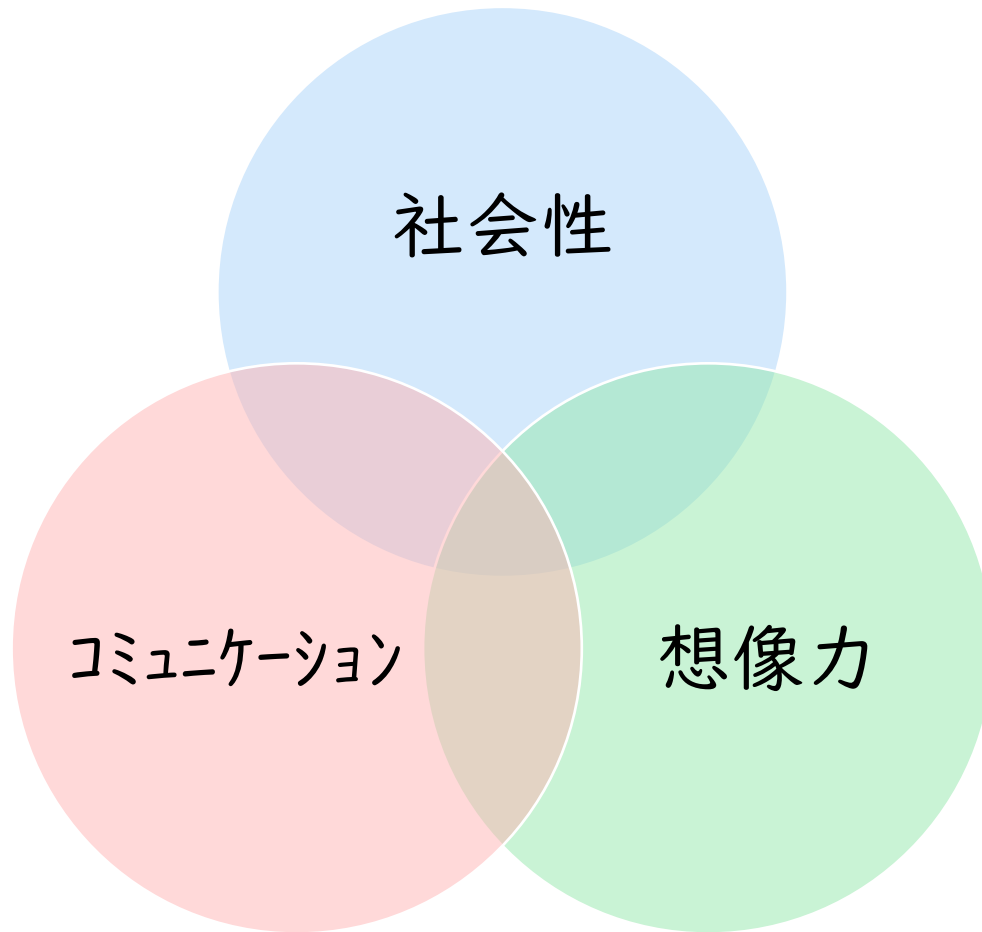
「初めて」
が苦手

見通しが
持てない

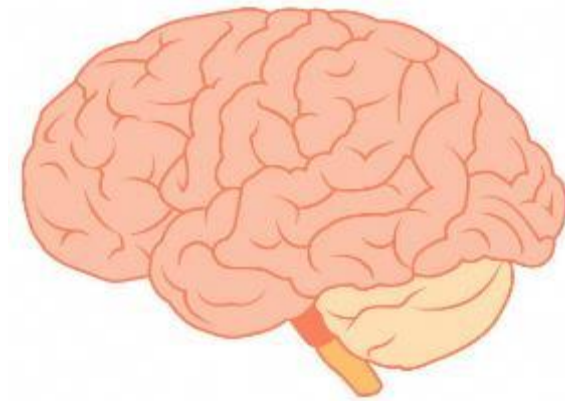
情報整理が
できない

感覚過敏

古典的自閉症の三つ組みの症状



有病率: 2-5%程度
原因: 脳機能障害



最近の風潮 「二重共感問題」

「ASD者のみ」「非ASD者のみ」「混合」の3グループで伝言ゲーム (Crompton et al., 2020)

→情報の精度、親密さを計測

→「混合」のみが情報の精度も親密さも低かった

◆二重共感問題 (Milton, 2012)

もって生まれた見解や個人的な概念理解が異なる人々の間で、意味を伝えようとする際に生じる「自然な態度」の食い違いを意味する。ある意味では二人ともが経験する「二重の問題」であり、一人の人間の中にある単一の問題ではない。

「定型発達者」がコミュニケーション能力が高いと自認できるのは、自分たちがマジョリティであるという点に支えられている (村中、2023)。

ここがポイント！

■自閉

- ・「自ら」の中に「閉じている」
- ・感覚、解釈、表現などが主観的

■演算处理的理解

- ・論理的に組み立てられた話は理解しやすい
- ・○杓子定規、×曖昧なもの

⇒ “基準の違う情報”の優先順位づけ×

安心・安全・大丈夫
の幅が狭い

カクテルパーティー効果

教室場面 ①

教室場面 ②

ASDの子の 対人情報処理

- 目が合わない
 - 怖い、しんどい
- 情報過多（シングルタスク）
 - 表情、音声、身振り手振りなど

↑

優先順位×、一つ一つの情報処理×
- 対人関係に恐怖心がある
 - 失敗経験の学習



相手がロボットだったら…

- 一度に発生する**情報**が少ない
- リアクションの**パターン**が少ない
- 同じ入力→必ず同じ反応
- 何かやらかしても**失礼**と思わなくて済む



◆ 主な対応

- 環境調整（静か・質素／クールダウンの場）
- 見通しの提示（予告、予習） ← 安心安全の提供
 - 明るい「お化け屋敷」のように
 - 時間的見通し（「ちょっと」「あとで」は×）、内容的見通し
 - 構造化
- （注目すべきポイントを）具体的に伝える
- 目に見えないものを「見える化」する
 - 会話のターン

自閉スペクトラム症 (ASD) のキモチ

我々が想像しているよりはるかに

苦痛



注意欠如・多動症（ADHD）診断の要点

A: 多動性

- ・ 落ち着いてその場にいられない
- ・ そわそわ、喋りすぎ、うるさい

B: 衝動性

- ・ 待てない、乱暴なふるまい
- ・ 思い付きで発言、聴き終わる前に喋る

C: 不注意

- ・ 忘れる、なくす、整理できない
- ・ 集中力のばらつき、持続的な努力×

原因

有病率:3-7%程度

- 前頭前野の障害

- 短期記憶や注意力、推論、判断、感情の抑制などを司る

大人らしさ



前頭前野の働き

1. 思考する
2. 行動を抑制する
3. コミュニケーションする
4. 意思決定する
5. 情動の制御をする
6. 記憶のコントロールをする
7. 意識・注意を集中する
8. 注意を分散する

ADHDの症状 3つの機能不全

-アクセル

報酬までに時間があると、やる気が出ない

-ブレーキ

思いついた行動の抑制が出来ない、集中維持が出来ない

-タイマー

時間の管理が苦手



ADHDの特徴

落ち着きがない

先の見通しが立たない

段取りが悪い

我慢できない

気が散る

集中力がない

話を聞いてない

忘れる

物をなくす

経過

多動・衝動性

- 思春期頃から多少落ち着く（前頭葉が発達する）
- まあアクティブとも言える

不注意

- 対策を練るようになる

◆ 多動・衝動への主な対応

- 環境調整

- 褒める(認める)、しかも「即時」に!

失敗からは学べない(不快な気持ちにブレーキ効かない)

- 特性を活かす

ex) 動いてよい状況を作る／覚醒度が高い姿勢を取る

経過

多動・衝動性

- 思春期頃から多少落ち着く（前頭葉が発達する）
- まあアクティブとも言える

不注意

- 対策を練るようになる

◆ 不注意への対策

物理的・作業的に整理する しかけ・仕組み

リマインダー

メモ／人／罫をしかける

固定化

置き場／ルーチン化

便利グッズ

チェーン／Bag in bag

ADHDのキモチ

我々が想像しているよりはるかに
気付いてない

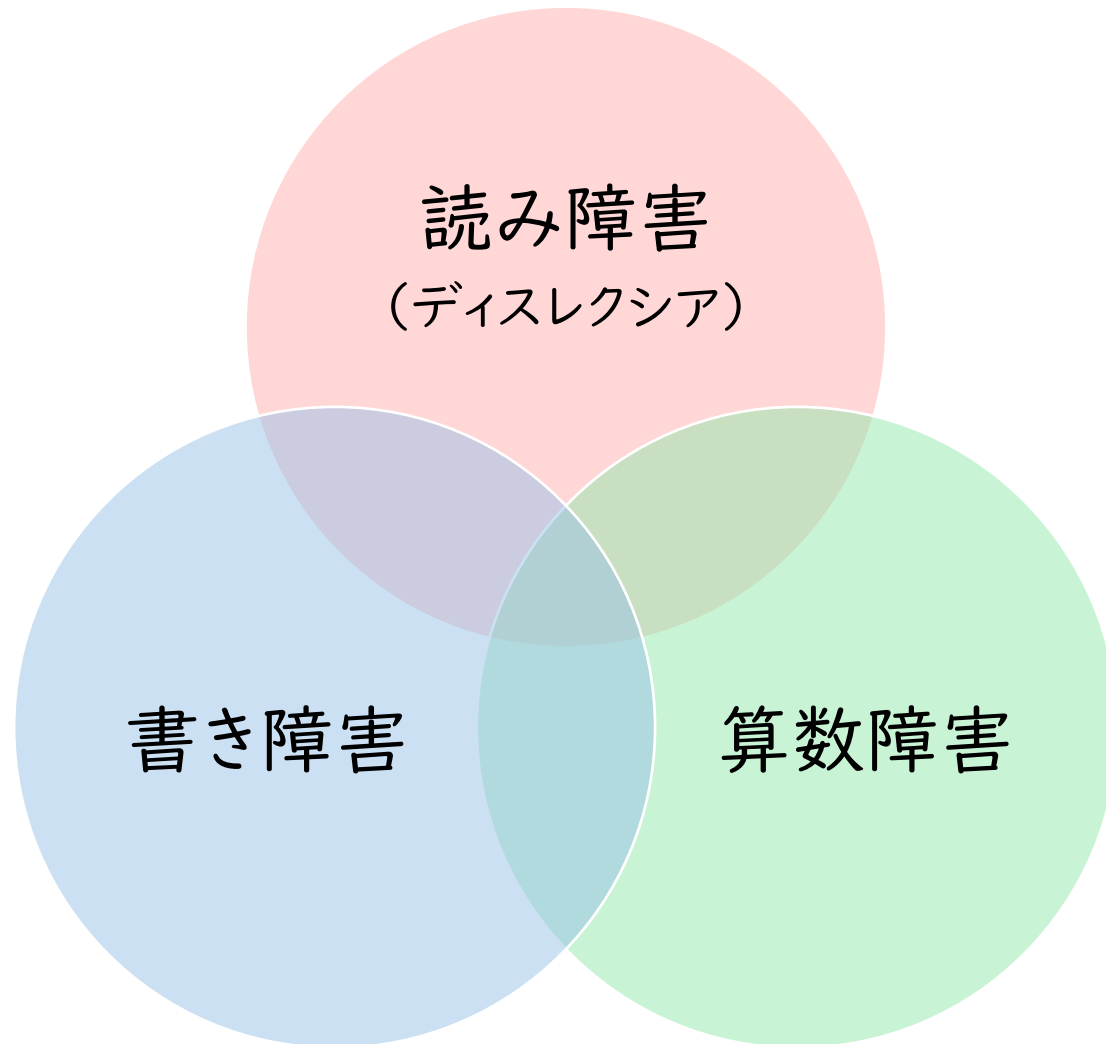


プチブレイク

聞いているばかりでは疲れますので、作業を1つ…

[illegible]

限局性学習症 (SLD、学習障害)



自尊心
自己効力感
の低下



学習において

全体的な
つまずき



知的障害 かも

部分的な
つまずき



学習障害 かも

私たちの「読み方」

実は、テキストに読んでいる

- ・単語をひとまとまり
- ・自分の辞書を参照

× 『こんにちは』
○ 『こんにちは』



★読みのつまずき ≠ 読めない
= 読めるけど 時間とエネルギーがかかる

対策：読まない。

グラフ

箇条書き

図表

要約

音声



対策：書かない。

写真

板書の省力化

写真＋ノート

プリント

PC入力



読み書き障害についての雑感

- 結構いる

 - ← アセスメント(音読検査)

- 私のケースから:LD外来につなげた子たち

- 当面の目標:ひらがな、カタカナをすらすら読む

- 日々の手立て

 - 板書 / 50音表を貼る / 漢字学習(宿題・50問テスト) /

 - 予習・音読 / 作文は代筆かICT活用 / 音声読み上げ

- “支援歴”を残す

もっと詳しく知りたい方のための情報いろいろ



←練馬区社会福祉協議会のHPより
ダウンロード可能



*スマホから縦読み
もできます

千葉リョウコ 宇野彰(監修)
ポプラ社
『うちの子は字が書けない』→



★トレーニングする際のポイント★

まずは、「ひらがな」「カタカナ」を(完全に)習得する。

【文字を見て→読み方を答える】、この時間を短くすることを目指す。

- 「ぎゃ」「だ」などの小さい「やゆよ」、濁音のある単音も忘れずに。
- フラッシュカード、かるたなどで工夫して毎日コツコツ続ける。

唱えるだけで
小学**全漢字**
1026字の
書き方が
おぼえられる!

2020年度新学習指導要領対応



『小学 全漢字 おぼえるカード』
学研



このじゅもんを唱えます。



ミチムラ式漢字カード

形に注目して唱えて覚える



[トップページ](#) ・ [認知特性別読み書き支援](#) ・ [スマイル式 プレ漢字プリント](#)

プレ漢字プリントに関するご意見を募集しています

— 認知特性別読み書き支援 — **スマイル式 プレ漢字プリント**

いいね! 507

「スマイル式プレ漢字プリント」は、小学校で一般的に使われている漢字教材では漢字の学習が困難な児童を支援する目的で開発した教材です。プリントの内容は、東京学芸大学小池敏英教授の研究に基づいています。

児童の認知特性（得意・不得意）に合わせた内容のプリントを選べるのが、これまでの教材にはない大きな特長です。

学校や家庭で、このプリントをぜひご活用ください。

監修：東京学芸大学名誉教授／尚絅学院大学教授 小池敏英

はじめに

プレ漢字プリントシステムの考え方について

漢字の学習が苦手な児童へ、教室や家庭でどのような支援ができるのか。その子に合った手立てを一緒に考えましょう。

[「はじめに」を読む](#)

NPO法人
スマイル・プラネットのHP

漢字や九九の教材
（無料）
認知様式の簡単なアセスメントも。
教科書に合わせてダウンロード可能。





21 ☆ **たのしいのはここ**
(かたかなをよみて) **1** なまえ

① 二にん	② 一さい	③ 一つ	④ ハさい	⑤ 人きい	⑥ オのぼり
↓	↓	↓	↓	↓	↓

たのしい！どこをみて、たのしくかこう。

読み書きが苦手な子どもへの「漢字」支援ワーク
竹田 契一 監修／村井 敏宏・中尾 和人 著

31 **かんじをいれよう** **1** なまえ

やくそく／うみの かくれんぼ／かずと かんじ①

ぶんを よんで、びったりの かんじを いれよう。

① ほうちようで、ケーキを つに きる。

② むしめがねで、 さな ありを みる。

③ せかいに、ただ つだけの たからものだ。

④ さるは、 のぼりが とくいだ。

⑤ おとうが、 りんしやに のっている。

⑥ アフリカぞうの みみは とても きい。

ヒント 木 大 小 一 二 三

49

学習障害のキモチ

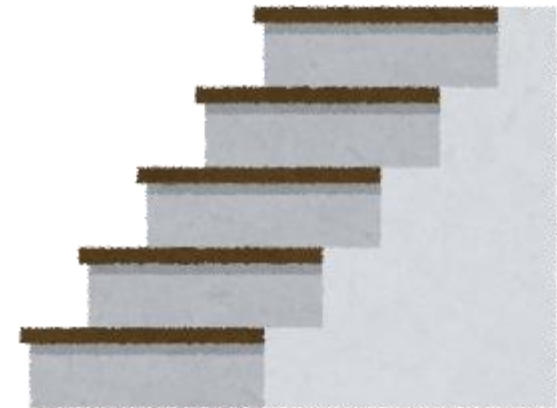
我々が想像しているよりはるかに
しんどい



問い① 発達障害にとっての「階段」は何か？

生活全般、いろんなところに《見えない「階段」》がある

- ASDの子 “苦痛”
- ADHDの子 “気づいてない”
- SLDの子 “しんどい”



問い② 目指すところはどこか

「ケアとは、理解することである」 (by 東畑開人)

「理解したら、できそうなことが見つかる」 (by みつばち)

ASD
“苦痛”

見通し、予告、見える化、構造化

ADHD
“気づいてない”

エラーに引っ掛からないように、
叱っても仕方がない、環境調整

SLD
“しんどい”

得意なチャンネルで、コンディションに応じて



《「困った子」が困っていること》を
周りがキャッチするレポーターを増やそう



発達障害かも、と思うことで
見えてくるものがあるかもしれない

発達障害の子への手立てが、
ヒントになることがあるかもしれない

参考・引用文献

公益財団法人 日本ケアフィット協会HP 障害の社会モデル

https://www.carefit.org/social_model/

「バリアフルレストラン」 チーム誰ともHP

<https://dare-tomo.team/barrierful-restaurant>

Crompton CJ ,Ropar D,Evans-Williams CVM et al. 2020 Autistic peer-to-peer information transfer is highly effective. Autism 24-7 ; 1704-1712

Milton DE 2012 On the ontological status of autism : The ‘double empathy problem.’ Disability & Society 27 ; 883-887

村中直人 2023 ニューロダイバーシティとはなにか？ー発達支援の基礎リテラシーとして. 臨床心理学 137 ; 527-532